

待望の市庁舎が完成

総事業費5億5千万円

市民待望の市庁舎は、1年かか
りの工事で17年12月に竣工、同24
日に落成式が行なわれました。

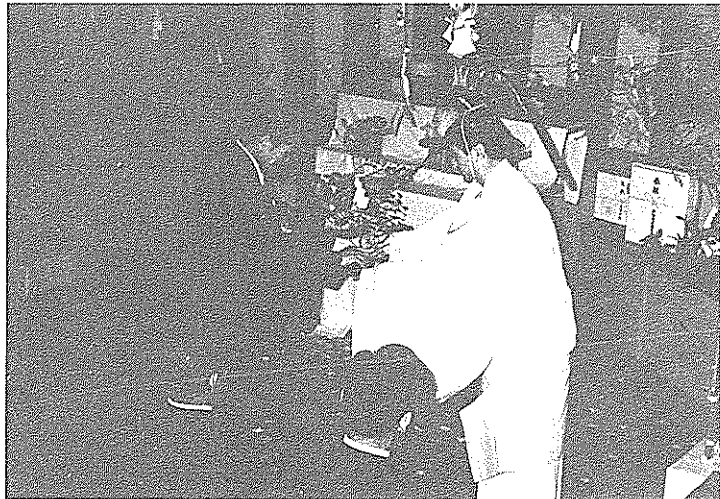
旧庁舎は第二次大戦中に建築さ
れた旧県地方事務所で、老朽化が
はげしく、そのうえ年ごとに行政
需要が多くなり手狭になっていま
した。

そこで、人口6～65,000人を想
定、総事業費、約5億5千万円（
建設工事費4億4,503万円、備品
費1,524万円、用地費9,571万円）
で、鉄筋コンクリート、地下1階
地上5階建て、延べ面積6,200平
方メートルの近代的な建設にとりかか
っていたものです。

落成式典は、午前11時から市長
ら市関係者、議員、工事関係者ら
の出席で神事がおごそかにとり行
なわれました。つづいて落成式は
午後1時から溝渕県知事、坂本高
知市長ら隣接の市町村長、遠く宮
城県から姉妹都市の吉内・岩沼市
長、それに市民の代表ら約300人
が出席して盛大に行なわれました。

まず、工事の経過報告のあと、
金堂市長が「旧庁舎は手狭で市民
に不便をかけていた。国・県をは
りめ多くの人たちのご協力で立派
に完成した。市民センターとして
名実ともに充実したものとしたい。
と、あいさつ、市の発展・飛躍を
願って、六ヶ条の市民憲章が宣言
されました。つづいて建設に功績
のあった人たちに感謝状、市制発
足以来の市議、25年以上勤続の市
職員に表彰状を贈呈。知事ら来賓
の祝辞があって式を終わりました。

このあと、市連合青年団が大八
車にモチを積み込んで入場。溝渕
知事、金堂市長もモチ投げに参加。
かけてきたたくさんの方々ととも
に新しい門出を祝いあいました。



■写真上・市民ホールでの神事
■中の左・祝盃をあげる溝渕県知
事と来賓の人たち
■中の右・「このサバのすしはう
まい」吉内・岩沼市長
（右）と大内同市副議長
■下・談笑する坂本高知市長
（左）と利岡教育長